

LANEX®—AP0203

爆発性ガス雰囲気のある危険場所(防爆エリア)で、安全・安心に使用可能な無線LANアクセスポイント

防爆型無線LANシステムは、ガス、石油化学、化学薬品工場等に存在する防爆エリアへの適用/設置が可能な無線LANシステムです。防爆型のPDAやIPカメラと組み合わせれば、設備運転データや映像の監視も行う事ができます。さらに、防爆型IP携帯電話との組み合わせにより防爆エリアにて通話が可能となります。指向性/無指向性のアクセスポイントを使い分ける事により、様々なエリア形状に対して最適(ミニマムコスト)なシステムの構築が可能です。



アンテナ

本体



適用が想定される各種プラントエリア



<主な特徴>

各種等級	防爆等級: Exdb(ia) IIB+H2T6 Gb 保護等級: IP65相当
無線LAN	IEEE802.11n/g/b に準拠 (2.4GHz帯) IEEE802.11ac/a に準拠 (5GHz帯) ※5GHz帯はオプション
セキュリティ	各種セキュリティ機能(WPA パーソナル、WPA エンタープライズ、MACアドレスフィルタリング等)
主な特徴	IEEE802.11n 256QAM 対応、通信速度最大400Mbps(理論値) IEEE802.11ac Wave2 対応、通信速度最大867Mbps(理論値) 無線 LAN コントローラによる集中管理にも対応 ^{注1} 移動端末がスムーズにローミングを行うために必要な機能(AWC-チャンネルブランケット)に対応 1つの無線LANチャンネルにて、AP間の電波干渉なく、広域無線LANエリアの構築可能 PoE(Power over Ethernet)給電方式を採用
通信距離 ^{注2}	屋外: 約~100m

注1: スタンドアローンモデルとしても対応可能

注2: 無線通信距離は、アクセスポイントが設置される環境により異なります。(詳細は現地調査実施要)

<LANEX®-AP0203基本仕様>

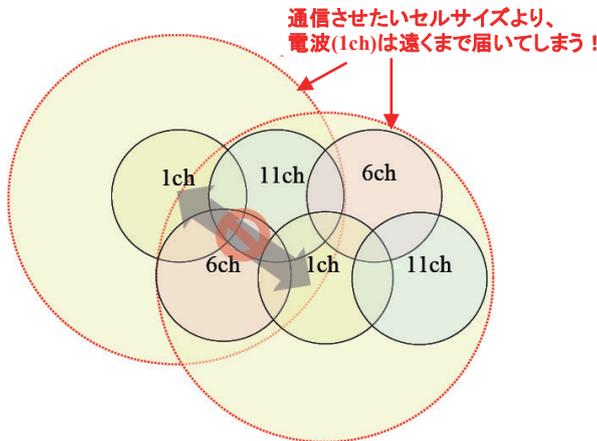
種別	項目	仕様 ^{注1}
一般	本体部外形寸法	358mm(W)×426mm(H)×237mm(D) ※突起部、取付金具含まず
	重量	本体部 :約34kg アンテナ部:(2.4GHz)約0.4kg、(5GHz)約0.7kg ※取付金具含まず
	防爆等級/検定番号	Exdb(ia) IIB+H2T6 Gb (1/2種危険場所)/検定番号:TC22276X
	保護等級	IP65相当
	使用温度(湿度範囲)	-15℃~60℃ (湿度:5~95%結露無きこと)
無線LAN部	サポート規格	IEEE802.11ac/n/a/g/b
	伝送方式	802.11ac/n/a/g : 直交周波数分割多重方式(OFDM) 802.11b : 直接スペクトラム拡散方式(DSSS)、CCK方式
	使用周波数範囲	2.4GHz帯(全13ch) 5GHz帯(W52、W53、W56)デュアル無線 ※5GHz帯はオプション
	通信速度(理論値)	2.4GHz帯:802.11n接続時 最大400Mbps(256QAM使用時) 5GHz帯 :802.11ac接続時 最大867Mbps
	セキュリティ	WPA/パーソナル(WPAとWPA2、WPA2とWPA3、WPA2、WPA3)、 WPAエンタープライズ(WPAとWPA2、WPA2、WPA3)、MACアドレスフィルタリング、SSID ANY拒否
	暗号化	WEP :64/128ビット WPA/WPA2:CCMP(AES)とTKIP、またはCCMP(AES)のみ WPA3 :パーソナル…CCMP(AES)、エンタープライズ…GCMP(AES)
	送信出力	10mW/MHz以下
	通信距離 ^{注2}	屋外:約~100m
アンテナ部	アンテナタイプ	オムニディレクショナルアンテナ(無指向性) 2×2MIMO(2ストリーム対応)
	アンテナ本数	2.4GHz:2本 5GHz:2本 ※5GHz帯はオプション
有線LAN部	サポート規格	IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3ab(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)準拠 IEEE802.3at準拠(PoE+仕様)
	インターフェース	RJ-45型×1

注1:予告なく仕様変更される可能性があります。 注2:無線通信距離は、APが設置される環境により異なります。

『LANEX®-AP0203』無線LANアクセスポイントは、アライドテレシス社の最新技術(AWC-チャンネルブランケット)を採用する事により、高品質で信頼性の高い無線LAN環境の構築が可能

一般の無線LAN

干渉防止の目的から、1・6・11chで使用することが多い。
同一チャンネルの干渉を防ぐため、交互に配置するも…

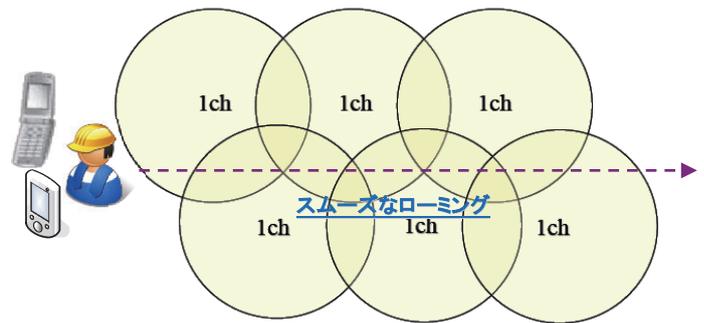


- ◇ AP配置計画時、同一チャンネルによる電波干渉発生に注意が必要。
- ◇ 電波干渉を防ぐ為に送信出力を弱めるとAP追加設置の可能性あり。
- ◇ ハンドオーバーは端末主導にて実施される。その際、通信断・音声途切れなどが発生する可能性あり。

LANEX®-AP0203

シングルチャンネル(チャンネルブランケット方式)

- ① 複数の無線APを単一チャンネルで運用し、仮想的に巨大なひとつのAPとしてネットワークアクセスを提供する
- ② 特許技術のマルチコミュニケーションテクノロジーにより、互いに電波干渉しない複数の無線端末は、異なるAPを利用して同時に通信可能



- ◇ 1チャンネルのみで無線LANシステムを構築する事により、各種システム(無線計装など)との共存が可能!
- ◇ ローミングによるパケットロス・スティッキー端末問題を解決。(通信断、音声途切れなどの発生を少なく抑える事ができます。)